

第1章

総説

内 容

- 1 沿 革 (1)
- 2 位 置 (2)
- 3 地 勢 (2)
- 4 気 候 (2)
- 5 市 域 の 変 遷 (3)
- 6 人 口 ・ 世 帯 数 (3)
- 7 人 口 動 態 (4)
- 8 産 業 別 人 口 推 移 (5)
- 9 市 民 経 済 計 算 (5)

1 沿 革

千葉市の起源は、約3万年前の旧石器時代に溯り、縄文時代には我が国最大級の加曽利貝塚が形成されるなど、既に多くの人々が暮らしていた。

都市としては、上総国、下総国に威を張った千葉常重が大治元年（1126年）6月1日に亥鼻周辺に館を築いたのに始まり、享徳4年（1455年）千葉氏の内紛で千葉城が落城するまで繁栄が続いた。

延享3年（1746年）江戸幕府9代将軍家重の時、堀田氏が佐倉に封ぜられ、千葉は佐倉藩の江戸向けの物資の集積・積出港、宿場町として再び栄えた。

明治6年（1873年）6月15日に木更津、印旛の2県が廃合され、千葉県となり、県庁が千葉町に置かれ、鉄道が敷設されたことにより、県内の政治・経済・文化の中心地、交通の要衝として発展した。

大正10年（1921年）1月1日に市制を施行、全国76番目の市となった（人口33,887人、世帯数6,918世帯、面積15.22km²）。

昭和20年（1945年）6月10日と7月7日の2度の空襲により中心市街地の約7割を焼失したが、市民は協力してまちの復興に立ち上がり、さらに川崎製鉄、東京電力などの企業を誘致するとともに、千葉港の整備を行い、消費都市から生産都市への転換を図った。

昭和40年代から50年代にかけて海浜ニュータウンなど臨海部の開発、内陸工業団地、大規模住宅団地の造成を行うなど市勢は発展を続け、平成4年（1992年）4月1日には、全国12番目の政令指定都市に移行した。

平成23年（2011年）に市制施行90周年を迎え、平成29年（2017年）に政令指定都市移行25周年を迎えた。

[千葉市の歩み]

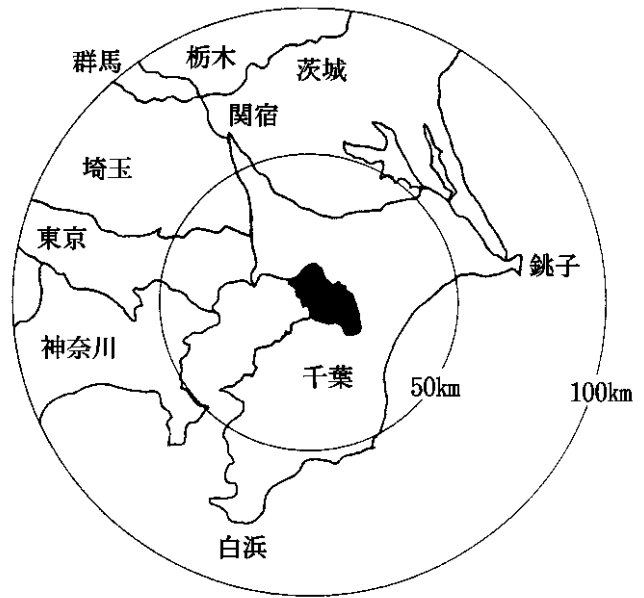
大 10. 1	市制施行 33,887人 15.22km ²	46. 10	東関東自動車道が宮野木で分岐し、富里まで開通
10. 3	第1回市議会議員選挙施行	47. 10	ヒューストン市と姉妹都市締結
10. 7	京成電気軌道、船橋～千葉間開業	47. 11	ケソン市と姉妹都市締結
昭 10. 7	省線電車、御茶ノ水～千葉間開通	49. 5	人口が60万人突破
12. 2	検見川町、蘇我町、都賀村、都村を合併	52. 11	人口が70万人突破
15. 12	297ha（約90万坪）の埋立開始（現川崎町）	54. 3	千葉東金有料道路が開通
19. 2	千城村を合併	55. 10	京葉道路が全線開通
20. 7	市街地231ha（約70万坪）が空襲により焼失	57. 4	湾岸道路が開通
29. 7	千葉港が港湾指定となり正式開港	59. 10	「緑と水辺の都市宣言」を行う
29. 7	犢橋村、幕張町を合併	61. 3	国鉄京葉線（千葉みなと～西船橋間）開通
30. 2	生浜町、椎名村、誉田村を合併	61. 5	天津市と友好都市締結
36. 4	内陸工業地帯の開発に着手	61. 6	千葉ポートタワーオープン
36. 5	稲毛海岸の埋立開始	62. 4	人口が80万人突破
38. 4	泉町を合併	62. 12	千葉県東方沖地震で大きな被害
38. 9	京葉臨海鉄道が開業	63. 3	千葉都市モノレール開業 （スポーツセンター～千城台間）
39. 4	人口が30万人突破	平 元. 2	「平和都市宣言」を行う
40. 4	千葉港が特定重要港湾に昇格	10	日本コンベンションセンター（幕張メッセ）オープン
42. 3	検見川海岸の埋立開始	2. 3	千葉マリスタジアム（現ZOZOマリスタジアム）オープン
43. 6	人口が40万人突破		
44. 7	土気町を合併		
45. 1	ノースバンクーバー、アスンシオン両市と姉妹都市締結		
46. 4	人口が50万人突破		

平 3. 10	ロッテマリーンズの本拠地、マリンスタジアムに決定	平 21. 3	人口が95万人突破
4. 4	政令指定都市に移行	23. 1	市制施行90周年
4. 4	千葉急行（現京成千原線）、千葉中央～大森台間開業	23. 3	東日本大震災で大きな被害
5. 9	人口が85万人突破	24. 4	政令指定都市移行20周年
8. 5	モントルー市と姉妹都市締結	26. 2	家庭ごみ手数料徴収制度開始
8. 10	呉江市と友好都市締結	26. 4	待機児童ゼロを達成
8. 10	第1回市民の日記念式典開催	27. 4	「焼却ごみ3分の1削減」目標を達成
12. 3	「千葉市新総合ビジョン」を策定	27. 5	幕張海浜公園でレッドブル・エアレースが日本初開催
14. 4	人口が90万人突破	27. 9	中央区で局地的な突風により多数の家屋に被害
15. 3	ジェフユナイテッド市原のホームタウンの千葉市への広域化が決定	28. 4	千葉港初の旅客船さん橋やターミナル等複合施設がオープン
17. 10	フクダ電子アリーナ、アクアリンクちばオープン	29. 3	花見川区役所内に、みずほハスの花図書館オープン
		29. 10	加曽利貝塚が、国の特別史跡に指定

2 位 置

平成29年3月31日現在

方位	東 経	北 緯	地 点
東端	140度18分	35度31分	緑区小食土町
西端	140度01分	35度39分	美浜区豊砂
南端	140度16分	35度30分	緑区小山町
北端	140度07分	35度43分	花見川区横戸町



3 地 勢

西部は東京湾に臨み、市域の約8分の1に相当する埋立地があり、さらに市街地が連なり、その後方は平均標高21mの平坦な台地が続いている一方、東部に向ってはゆるやかに高くなり、最高地は103.6m（緑区板倉町）である。

4 気 候

平成28年の年間平均気温は16.8℃、年間降水量は1,604.5mmと比較的温暖で、気候に恵まれた土地である。

5 市 域 の 変 遷

年 月 日	編 入（ 合 併 ） 地 域 名	面 積 (km ²)		人 口 (人)	
		関 係 区 域	総 面 積	関 係 人 口	総 人 口
大正10. 1. 1	市制施行	15.22	15.22	33,887	33,887
昭和12. 2. 11	検見川町、蘇我町、都賀村、都村	51.66	66.88	28,105	80,833
〃 19. 2. 11	千城村	19.45	86.33	4,522	110,139
〃 29. 7. 1	犢橋村	19.11	107.24	5,219	160,728
〃 29. 7. 6	幕張町	10.00	117.24	14,360	175,088
〃 30. 2. 11	生浜町、椎名村、誉田村	41.57	158.81	16,109	197,962
〃 38. 4. 10	泉町	49.37	210.84	9,454	285,794
〃 44. 7. 15	土気町	31.47	249.68	8,208	448,207
平成30. 4. 1			271.77		975,669

※市制施行欄の人口は大正10年12月31日現在

※直近の市域面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」（平成29年10月1日現在）

6 人 口 ・ 世 帯 数

1 推 移

年次別	面積 (km ²)	世 帯 数	人 口 (人)			人口密度 (1 km ² 当り)	人 口 増加率 (%)
			総 数	男	女		
大正10年	15.22	6,918	33,887	17,093	16,794	2,226	—
〃 14年	15.22	8,788	41,806	20,569	21,237	2,747	23.37
昭和5年	15.22	10,537	49,088	24,212	24,876	3,225	17.42
〃 10年	15.22	11,938	57,446	28,218	29,228	3,774	17.03
〃 15年	66.88	18,086	92,061	45,272	46,789	1,377	60.26
〃 22年	86.33	25,529	122,006	61,070	60,936	1,413	32.53
〃 25年	86.33	28,228	133,844	66,850	66,994	1,550	9.70
〃 30年	158.81	40,868	197,962	99,277	98,685	1,247	47.91
〃 35年	160.99	56,056	241,615	123,310	118,305	1,501	22.05
〃 40年	211.97	85,295	332,188	170,413	161,775	1,567	37.49
〃 45年	249.95	136,241	482,133	245,240	236,893	1,929	45.14
〃 50年	262.75	196,206	659,356	334,616	324,740	2,509	36.76
〃 55年	271.72	235,735	746,430	376,861	369,569	2,747	13.21
〃 60年	272.12	252,960	788,930	397,582	391,348	2,899	5.69
平成2年	272.54	284,293	829,455	419,505	409,950	3,043	5.14
〃 7年	272.08	316,466	856,878	433,612	423,266	3,149	3.31
〃 12年	272.08	348,159	887,164	447,563	439,601	3,261	3.53
〃 17年	272.08	373,766	924,319	462,961	461,358	3,397	4.19
〃 22年	272.08	406,309	961,749	480,194	481,555	3,535	4.05
〃 27年	271.76	417,857	971,882	482,840	489,042	3,576	1.05
〃 30年	271.77	431,307	975,669	484,510	491,159	3,590	0.39

※人口及び世帯数については、大正10年は12月31日現在、平成30年は4月1日現在（推計人口）、それ以外は国勢調査時。増加率は前国勢調査と比較。

※本市の15歳未満人口は120,196人、65歳以上人口は246,846人、平均年齢は45.3歳（平成30年3月31日現在住民基

本台帳人口)

2 区 別

区	面積 (km ²)	世帯数	人口 (人)		
			総数	男	女
中央区	44.70	99,952	209,284	104,112	105,172
花見川区	34.19	79,546	178,339	89,078	89,261
稲毛区	21.22	73,181	161,007	80,353	80,654
若葉区	84.21	64,274	149,980	75,685	74,295
緑区	66.25	49,046	128,746	63,159	65,587
美浜区	21.20	65,308	148,313	72,123	76,190

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」(平成29年10月1日現在)

※人口及び世帯数は、平成30年4月1日現在(推計人口)

7 人口動態

区分		平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
人口		964,314	966,639	972,126	973,309	975,535
自然動態	出生	7,771	7,462	7,481	7,199	6,829
	死亡	7,705	7,869	8,085	8,192	8,697
	増減	66	-407	-604	-993	-1,868
社会動態	転入	41,474	41,839	48,705	41,468	43,269
	転出	40,908	39,107	42,614	39,292	39,175
	増減	566	2,732	6,091	2,176	4,094
年間増減		632	2,325	5,487	1,183	2,226
対前年増減率		0.07%	0.24%	0.57%	0.12%	0.23%

※推計人口による。

※自然動態および社会動態は、当該年の1月1日から12月31日までの数値であり、人口は、その翌年の1月1日現在の数値

※本市の昼間人口は951,528人、夜間人口は971,882人(平成27年国勢調査)

8 産業別人口推移

(国勢調査報告—総務省)

産業別	区分	平成22年	構成比	平成27年	構成比
第1次	農業	2,928 人	0.7 %	2,898 人	0.7 %
	林業	36	0.0	41	0.0
	漁業	20	0.0	25	0.0
	小計	2,984	0.7	2,964	0.7
第2次	鉱業、採石業、砂利採取業	83	0.0	114	0.0
	建設業	30,770	7.1	31,116	7.2
	製造業	41,549	9.6	44,846	10.4
	小計	72,402	16.8	76,076	17.7
第3次	電気・ガス・熱供給・水道業	2,425	0.6	2,226	0.5
	情報通信業	21,040	4.9	21,005	4.9
	運輸業、郵便業	27,856	6.5	27,061	6.3
	卸売業、小売業	76,778	17.8	70,982	16.5
	金融業、保険業	16,758	3.9	15,799	3.7
	不動産業、物品賃貸業	11,431	2.7	12,135	2.8
	学術研究、専門・技術サービス業	18,152	4.2	17,549	4.1
	宿泊業、飲食サービス業	24,896	5.8	24,349	5.7
	生活関連サービス業、娯楽業	16,784	3.9	16,431	3.8
	教育、学習支援業	21,317	4.9	21,644	5.0
	医療、福祉	40,330	9.4	47,064	10.9
	複合サービス事業	1,127	0.3	1,741	0.4
	サービス業（他に分類されないもの）	30,422	7.1	31,564	7.3
	公務（他に分類されないものを除く）	15,586	3.6	15,382	3.6
小計	324,902	75.4	324,932	75.5	
分類不能の産業		30,550	7.1	26,666	6.2
合計		430,838	100.0	430,638	100.0

※平成22年区分は日本標準産業分類（平成19年11月改定）による。

※平成27年区分は日本標準産業分類（平成25年10月改定）による。

※単位未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合がある。

9 市民経済計算

項目	単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度
経済成長率	名目	0.4	2.8	1.9
	実質	0.9	0.2	-0.2
市内総生産	名目	34,781	35,751	36,413
	実質	34,928	34,999	34,921
市民所得（分配）	億円	28,135	28,283	28,443
市民所得（一人当たり）	千円	2,918	2,929	2,927

※実質値は平成23暦年基準による連鎖方式

※市民所得には、企業の所得なども含まれているため個人の所得とは異なる。また、市民所得（一人当たり）は、市民所得（分配）を市の総人口（各年度10月1日現在）で割った額